

審議会等の会議結果報告

1. 会議名	第4回 松阪市環境保全審議会
2. 開催日時	平成20年 8月12日(金) 午後6時00分~午後8時00分
3. 開催場所	松阪市第2分館2階会議室
4. 出席者氏名	(委員) 朴恵淑、 富田靖男、市川雄二、葛山博次 小山利郎、辻宣夫、西川博明、長谷川靖、武藤廣 樋口和司、森勝之、矢尾板俊平(会長 副会長) (事務局) 三田環境課長、村田環境保全係長、奥、杉田
5. 公開及び非公開	公開
6. 傍聴者数	2名
7. 担当	松阪市環境部環境課 TFL 0598-53-4067 FAX 0598-26-4322 e-mail kan.div@city.matsusaka.mie.jp

議事録は別紙の通り

日時：平成 20 年度 8 月 12 日（月） 18 時 00 分～20 時 00 分

場所：松阪市第 2 分館 2 階

- 概要： 1．開会
2．議事（松阪市白猪山ウインドシステム）
．方法書の修正部分
．春季動植物調査結果
．希少猛禽類調査結果概要
．水道水源に関する調査計画
3．その他
4．閉会

出席者 16 名（傍聴者なし）

委員 12 名

市川雄二、葛山博次、小山利郎、辻宣夫、富田靖男、西川博明、朴恵淑、長谷川靖、武藤廣、樋口和司、森勝之、矢尾板俊平

事務局 4 名

三田環境課長、村田環境保全係長、奥、杉田

事業者：株式会社ジャネックス

審議内容

議事 方法書の修正部分について、ジャネックスより資料説明がなされる。

委員：資料 の 12 ページ、陸生動物の調査地点について、希少猛禽類の調査地点数も他と同様に具体的な数字を入れた方がよいのでは。

また、哺乳類について、フィールドサイン法で連続 3 日間調査することだが、これからの調査において、センサーカメラを設置すれば効果が上がると思う。

委員：この開発は県アセスに匹敵する広さをもつものなので、当初の方法書に対して色々な意見をあげてきた。その意見を取り入れていただいたことはありがたく思っている。ただ、方法書によるとすでに春の調査は終わってしまっているようであるが、忠実に予測・評価をしてほしい。

余分なことかと思うが、国土の自然変更に対して国の基準は甘いと思う。例えば、調査範囲は事業実施区域だけでよい、とあるがこれでは甘い。こういう状況で話を進められると、環境問題についてかなりシビアに条例・規則等を作って取り組んでいる本県として、あるいは松阪市としてはそれでは物足りなく感じる。そういったことを踏まえていただいて今回提出された資料については県のアセスに近いものを提出いただいたことは良かった

たと思う。あとはこれをどこまで誠実にやっていけるかである。

委員：この方法書のタイトルは調査方法書ではなく、環境影響評価の方法書という認識でよいのか。そうであるならば、調査の方法は書かれているが評価の方法が曖昧である。というのは、例えば、9 ページで評価の手法について書かれている。これは主観的にはそう言えるかも知れないが、果たしてこれが客観性を持ちうることを証明できるのかどうか問題となってくる。例えば、10 ページには電波障害については 5 段階評価のことが書かれているが、他の項目ではあまり見られない。この方法書に基づいて調査をし、評価をした際に、その評価結果が客観的であることが重要になる。そのためには、比較が重要だと思う。例えば、時系列的にどのような変化が行われているのかがひとつの評価になるし、もうひとつは過去の同じくらいの規模の開発事業と比べて、今回調査した結果どのくらい環境影響があるのかを比較をすることによって影響を評価できると思う。その比較をするための点数や基準が必要になる。また、何をもちいて環境への影響が少ないといえるのかという根拠をどのように示すのかについての考え方をお聞きしたい。

ジャネックス：評価の手法としては、大気質や水質については環境基準との比較になる。一方、選定した項目のほとんどは環境基準のようなものがなく抽象的である。例えば、動物や希少猛禽類の調査結果等が出てくるが、それが出てきた場合の類似事例等に準じて解析を行い、大丈夫か否かという評価をしていこうと考えている。植物についても、希少種があれば当然、回避することを大前提とし、やむを得ない場合には最終的に移植するという評価の仕方になるのではないかと考えている。

委員：一般的な評価の基準がないものについては自分たちで基準を作っていこうという方向であるという理解でよいのか。

ジャネックス：はい。

委員：それならば、その基準が妥当かどうかについてどう考えているか。例えばこの審議会で確認する等を考えているのか。

ジャネックス：最終的な評価としては、当然何もなければ影響がないと言えるが、不確定要素、つまり影響を与えるかどうか既存の事例を見ても分からない場合には、とりあえず影響がないだろうということであればモニタリング調査をしていく中でさらに評価を追及していきたい。

委員：それならば、影響評価方法書の中にそれらの記載をしなくてよいのか。例えば水質についてはこういうものを参考にするといったことは必要ではないか。評価というのは誰がやっても同じ結果が出るのが重要なので、方法については一般的に周知されていなくてはならない。それが公開されているということの意味だと思うが、そうすると同じデータを使って同じように評価すると同じ結果になることが一番正当な評価ということである。そうすると、自分で評価基準を作られるのであれば、その妥当性について公の場で審議しておく必要があると思う。そうすることで客観性が正当付けされるのでは。

委員：関連したことだが、方法書に基づいて実際に調査をし、その予測、評価のうえ最終的に評価書が出来ると思うが、それが出来るにあたってはこの審議会にかけてもらえるのか。

ジャネックス：当然です。

委員：その中で、ここではより具体的に示されていないので意見を言わせていただくが、まず

は、基準についてあらゆるデータを揃えておいていただけるとありがたい。三重県としては風力発電の事例は少ない。しかも、この地域の尾根筋一帯のものであり、他の地域とは同じようにはいかない部分があるかと思うが、そのようなデータを用意しておいてほしい。

会長：方法書の段階である程度のもが見えていっていると、最終的に評価書段階で楽になる。この方法書は最初の段階に比べると、この審議会の意向をかなり汲んでいる感じは見受けられる。したがって、後は客観性の問題である。色々な地域で色々な環境アセスがなされているのでそんなに難しくはないと思うので、指標になるようなものを考えておく方がよい。

委員：先ほど、場合によってはモニタリング調査するとの話があったが、開発前後の比較が出来る客観的に評価できるので、ぜひ、してもらいたいと思う。

環境調査についてはかなり力を入れて調査してもらっている。鳥については冬の調査が抜けていたが、資料の下の方に必要に応じて追加的に実施とあるので安心はしている。

委員：評価の手法について、資料の 13 ページ、22 ページに技術指針等に示されている基本的な手法と書かれているが、このあたりをきちんと踏まえていただきたく思う。

議事 春季動植物調査結果について、ジャネックスより資料説明がなされる。

委員：資料 15 ページにあがっている重要種について、希少猛禽類が抜けているのでは。

ジャネックス：こちらのミスなので訂正して書き直す。

委員：資料 30 ページについて、重要種の印の漏れているところがある。

また、搬入路についての調査が漏れているのでは。

ジャネックス：はい。春については。

委員：搬入路周辺の調査が漏れているのでは。搬入路あたりはまだまだ動植物種が増える。春の分をどこでするのがまた検討してほしい。春の調査結果を見るとかなり種数が少ないように思うが。

ジャネックス：尾根沿いということもあり、種数が上がらないのが実情である。

委員：調査ルートについては示されていて分かるので秋に期待する。春の希少種については少ないと思う。

委員：ユリ科の希少種についてだが、搬入路までいくと確認される可能性がある。また、搬入路については砂防ダムがあると思うが。

ジャネックス：林地開発の段階で砂防ダムは避ける等のご指導があると思う。

委員：ほぼスギ山であり、確かに種数は少ないかもしれない。現地にはほとんど生えていない。

委員：搬入路の春の調査がなされていないので、現時点で良いので一日でも早く調査をしてほしい。今の時期であれば花はなくても植物体は確認出来ると思う。

議事 希少猛禽類の調査結果概要について、ジャネックスより資料説明がなされる。

委員：対象事業実施区域の周辺地域でクマタカが確認されたとあるが、調査についてはしっかりやってもらっているので今後も継続してほしい。

委員：ただ、それだけの環境があるところなので、このあと最低 1 年半、2 営巣期は見なくて

はならないと思う。その上で行動圏の把握をしっかりと行い行動解析して欲しい。

委員：慎重に調査してもらっているのがありがたいが、クマタカについては調査結果の公開を慎重にしないといけない。

委員：慎重にしているとは思いますが、調査によって影響がないよう充分気をつけていただきたい。

議事 水道水源に関する調査計画について、ジャネックスより資料説明がなされる。

ジャネックス：基本的なスタンスとして、水道水源は行政的なものであるため水道水源については松阪市の水道部と今後調査基準や計画の策定をし、調査方法あるいは評価手法について協議して実施していきたい。

(資料説明)

会長：本日欠席の委員より 2 つの質問が寄せられている。1 つは、横谷川は松阪市の水道水源にとって非常に大切な地点であるが、ここでの水質調査は行うのかどうか。今の説明にもあった通り、3 地点にて行うとのことであったのでそのまま伝えさせていただく。

もうひとつは、水道水源とは直接関係がないわけではないが、谷を埋める工事が行われるにあたって、水道水質への影響、植物等への影響は考えなくてよいのかとのことであるので返答願いたい。

ジャネックス：造成中に発生した土については嬉野側の谷を考えており、直接横谷川に放流する計画はない。埋めるにしても例えば植生の調査等は事前に実施していくことを考えている。

会長：今のところ影響はないだろうということによいか。

ジャネックス：はい。

委員：嬉野側となると中村川への影響となるが、そうするとネコギギへの影響は大丈夫か。

ジャネックス：今後、工事中の環境保全対策については林地開発の中で厳しいご指導を受けると思う。水生生物については別途調査する。

資料 5 の景観についてジャネックスより資料説明がなされる。

会長：以上、議事 ~ 、追加で議事 として景観についての説明があったが、トータルで何か質問、コメントがあれば。

委員：ささいなことだが、前も指摘した仁柿川の方が違うので修正しておいてほしい。

ジャネックス：わかりました。

委員：議事録も含めて公開すると思うがどこまで情報を出せるのか。特にクマタカについてであるが。

委員：植物についてもぼかしてはあるが、その気になればそこを歩けば分かる。希少種の生育地の分布図をどのように扱うかについては市も含めて検討しないといけない。植物について、リストについてはやむを得ないが分布図については公開しないほうがよいのではないだろうか。クマタカについても写真の公開はしない方がよいのでは。

- 委員：市民には調査してきたことについては何らかの方法で公開していかななくてはならない。
公開の仕方については一度それぞれの専門家で検討してもらうほうがよいのでは。
- 委員：特にユリ科、ラン科植物の分布情報を公開するとかえって山が荒れてしまう恐れもあり、
場所は公開しないほうがよいと思う。
- 委員：なので植物はリストだけにすべき。
- 委員：松阪市の情報公開条例はどうなっているのか。
- 事務局：原則公開であるが、理由があれば非公開には出来ると思う。
- 委員：公開して山が荒れる、あるいは大事なものが失われる等、地域に迷惑をかけることにな
るのは大変寂しいことである。理由があるので公開すべきでないところはそうすべきだ
と思う。
- 会長：審議会の情報公開の原則は委員の名簿、議事録についてはどこでも情報公開対象となっ
ている。資料についてはケースバイケースであり、この松阪市環境保全審議会について
も議事録は公開しているが資料は公開していない。これからも例えば希少種については
委員には議論していただかなければならないので委員の常識にゆだねることになる。場
合によっては審議会資料の回収という手段も取れないことはないが、今日提出されたも
のが一人歩きすることが困るということが委員の中で提示され、そうだというのであれ
ばいくつかのデータだけは抜かせていただいて持ち帰ってもらうという形にするし、あ
るいは今日提出されたものであれば委員の常識にゆだねて良いだろうという場合にはそ
のまま持ち帰ってもらうという形にする。まず、動植物の専門家に伺いたいが、ここ
に示されている資料の精度という部分から見るとどのような判断をされているのか。クマ
タカと希少種に対してどのように扱えばよいか。
- 委員：クマタカについて、写真は委員の中だけにしてほしい。
- 委員：調査を現にしており、市民もそれを知っている。未完成の段階であるが、現に調査をし
た内容についても開示請求があればリストまでは示していかななくてはならないと思う。
したがって、リストの提示を認めたらどうか。クマタカについてもリストアップはする
が、その生息地等については非公開とすればよいのでは。植物についても希少種の生育
地は非公開、開示請求があればリストアップはするというのはどうか。
- 会長：ただいまの事案でどうか。
- 会長：それでは、委員に提出された資料についてはそのまま委員の資料として留めていただき
開示請求や何らかの問合せ等があればリストのみ開示する。希少種の具体的な場所が特
定できるものについては非公開という形にしたい。
- 議事録作成後に専門の先生に読んでもらい大丈夫そうであればそのまま公開するとい
うことにし、議事録の一部を非公開にするのであれば、専門家の助言のもと非公開にし
た、あるいはしているとの断りを入れていただきたい。原則情報公開のもとでなぜ一部
情報公開しないのかということの説明していく必要はある。

以上